

4. 日本語教育学位取得プログラム

本プログラムは、高度の専門性と国際性を備えた日本語教育者を養成することを目的として、2005年4月に当時の留学生センター、言語社会研究科、国立国語研究所の3者が連携する連携講座として、言語社会研究科の中に開設されたプログラムである。日本語教育の専門的な知識や技能にくわえ、日本語学の素養、日本の社会と文化に関わる幅広い知識を身につけた日本語教育者を輩出している。2007年4月には定員4名の博士課程のプログラムも設置され、2010年3月には初の修了者（嘉教勝美氏）も誕生した。

日本語教育学位取得プログラムの概要

定員 10名（修士課程） 4名（博士課程）

学位 修士（学術） 博士（学術）

授業担当者

コアスタッフ（演習を担当し、指導教員となる教員）

留学生センター：庵 功雄、石黒 圭、五味 政信、鶴田 庸子

言語社会研究科：秋谷 治、イ ヨンスク、坂内 徳明

国立国語研究所：井上 優、前川 喜久雄、山崎 誠

サポートスタッフ（講義を担当する教員）

留学生センター：阿部 仁、西谷 まり

経済学研究科：今村 和宏

法学研究科：三枝 令子

国立国語研究所：小木曾 智信

非常勤講師：松岡 弘

2009年度本プログラム修士課程入学試験志願者・合格者内訳

	受験者	合格者	入学者
一般	10	2	2
留学生	31	9	6
日本語教育経験者	3	0	0
合計	44	11	8

2009年度本プログラム修士課程入学者名簿

カテゴリ	氏名	性別	国籍等	指導教員
一般	生田 理恵子	F	日本	イ ヨンスク
一般	福留 舞香	F	日本	イ ヨンスク
留学生	耿 梅晶	F	中国	庵 功雄
留学生	丁 寧	M	中国	井上 優

カテゴリ	氏名	性別	国籍等	指導教員
留学生	Sirirut Suntayopas	F	タイ	石黒 圭
留学生	Jiravatpinyo Piyanuch	F	タイ	五味 政信
留学生	Trukhina Anna	F	ロシア	庵 功雄
留学生	Pokrovska Olga	F	ウクライナ	石黒 圭

2009 年度本プログラム博士課程入学試験志願者・合格者内訳

	受験者	合格者	入学者
進学	5	3	3
編入	7	2	2
合計	12	5	5

2009 年度本プログラム博士課程入学者名簿

進学・編入の別	氏名	性別	国籍等	指導教員
編入	黄 明侠	F	中国	石黒 圭
進学	根本 愛子	F	日本	イ ヨンスク
進学	古川 敦子	F	日本	五味 政信
編入	前坊 香菜子	F	日本	山崎 誠
進学	山田 裕美子	F	日本	石黒 圭

表：日本語教育学位取得プログラム科目（言社研・国語研科目は除く）

科目（担当教員）	コマ数	授業内容・到達目標	時期・時間数
日本語教育学講義Ⅰ（西谷）	1コマ ／週	日本語教育の教授法を概観し、教育活動を研究する方法を考える。また、授業の一環として授業見学・実習を行う。	夏学期開講 30時間
日本語教育学講義Ⅱ（西谷）	1コマ ／週	海外での日本語教育活動、および地域との連携で行われている日本語教育を幅広く紹介する。また、授業見学・実習を行う。	冬学期開講 30時間
日本語教育学講義Ⅲ（阿部）	1コマ ／週	異文化・多文化理解教育にて使われる参加型学習法の実際を体験し、教育や研修分野での実用性を検証する。	夏学期開講 30時間
日本語教育学講義Ⅳ（阿部）	1コマ ／週	異文化理解教育者としてのビジョンを明確にし、実践、検証、内省のサイクルを通じて、異文化対応能力を向上を狙う。	冬学期開講 30時間
日本語教育学講義Ⅴ（今村）	1コマ ／週	日本語教授法の基礎を固め、自立的な教育研究が行えるように、日本語学や教授法の基礎概念と、教室活動の実践について講義する。	夏学期開講 30時間
日本語教育学講義Ⅵ（松岡）	1コマ ／週	主にヨーロッパにおける第二言語教育の歴史と、主要な教授法の具体的な内容（教科書や絵の利用など）とその教育理念を概述する。	夏学期開講 30時間
日本語教育学講義Ⅶ（三枝）	1コマ ／週	学習の到達度を正確に測定する尺度として、学習者の学習意欲を高める道具として、試験・評価のあり方を検討する。	冬学期開講 30時間
日本語学講義Ⅱ（庵）	1コマ ／週	現代日本語の文法を、文法カテゴリ別に概説する。Ⅱでは1文内の現象、とくに単文を中心に扱う。	夏学期開講 30時間

4. 日本語教育学位取得プログラム

科目(担当教員)	コマ数	授業内容・到達目標	時期・時間数
日本語学講義Ⅲ(庵)	1コマ /週	現代日本語の文法を、文法カテゴリ別に概説する。Ⅲでは複文、談話・テキストを中心に扱う。	冬学期開講 30時間
日本語教育実習(西谷)	1コマ /週	留学生センターが主催する9月の集中日本語コースにおいて、教案指導、教壇実習、改善点のフィードバックを行う。	夏学期開講 30時間
演習(庵)	1コマ /週	博士論文の指導を中心とする。学会誌論文を執筆することを念頭に置き、実践的な論文指導を行う。	通年開講 60時間
演習(石黒)	1コマ /週	日本語の談話分析の一環として、社会科学系の講義を対象に、どのように分析し、教材化するかを検討する。	夏学期開講 30時間
演習(五味)	1コマ /週	日本語教育の実践的な方法について、とくに初級の学習者を対象とする直接法を中心に、その方法を議論する。	冬学期開講 30時間
演習(鶴田)	1コマ /週	日本語のポライトネスについて考察し、日本語教育への応用の道を探る	通年開講 60時間

【秋季教育実習】

実施日：2009年9月2日～9月18日

実施場所：本センター秋季日本語集中コースA(中級前半)クラス

教壇実習：65時限(1時限45分)

実習指導：45時限(教案指導、授業評価など)

参加者：福留舞香、生田理恵子、Pokrovska Olga、Trukhina Anna、丁寧、黄明侠、
耿梅晶、Sirirut Suntayopas、Jiravatpinoy Piyanuch

指導教員：西谷まり、松浦とも子、筒井千絵

【春季海外教育実習】

実施日：2010年2月25日(木)出発～3月14日(日)帰国の全18日間

実施場所：北京大学外国語学院日本語文化学部(学部2年生対象)

国際関係学院の異文化ワークショップ参加、

北京日本学研究中心の公開講座受講、

一橋大学北京事務所・国際交流基金北京事務所・東京大学北京事務所訪問

参加者：福留舞香、生田理恵子、Pokrovska Olga、Trukhina Anna、丁寧、黄明侠
引率及び指導教員：西谷まり

※なお、本教育実習開催にあたり、国際交流基金より実習生全員に奨学金を支給していただいた。記して感謝申しあげる。

(文責：石黒 圭、西谷 まり)